



校訓

考える人 心豊かな人 たくましい人

霧島市立国分南中学校

学校便り5月2号

令和8年5月27日発行

志操は高く、品格ある青年学徒たれ

校長 平國弘明(ひらくに こうめい)

5月も終わりを迎えようとしている。来週は、早くも地区総体となる競技もある。ここまで取り組んできていることをしっかりやり切って欲しいと願う。

さて、「品(ひん)がいい」「品がない」という言葉を聞いたことがあるだろうか。「品(ひん)」とは「人やもののよさをうかがわせる、外にあらわれた様子」と辞書にある。人に対しては、「品格」「気品」「上品」などの言葉で使用されることが多い。

「志操は高く、品格ある青年学徒たれ」。この文言が、母校の校是(こうぜ)…「学校が正しいと考える教育上の基本方針や価値観を、短い言葉で示した標語のこと」に掲げられていた。皆で読み上げる機会も多かったので、今でもよく覚えている。意味は、「揺るがない志を高く持ち、良さや立派さが漂う生徒・学生でありなさい。」ということである。最近、「こんな生徒たちになって欲しい」と考える際に、最近、この校是を思い浮かべることが増えている。この言葉に関する忘れられない出来事がある。教師1年目の終わり。異動になった先生を赴任する学校まで送ったことがあり、その先生の教え子である高校生たちも一緒だった。着いた赴任先の学校には出迎えの生徒がすでに控えていた。佇まい、語り口、語る内容、態度、身なり、どれをとっても、さすが、T高生というものであった。同行の高校生たちには申し訳ないが、その「品格」には随分と差があるように思えた。

その後、複数の中学校に赴任した。その学校の卒業生たちに接する機会もある。成人式を終えたばかりの卒業生が来校し、対応したことがある。A中学校の卒業生は、名前などの自分たちの素性や来校の理由をきちんと語り、しっかりした服装に、態度、言葉遣いであった。一方、B中学校の卒業生は、あいさつすら十分でない上に、名乗ることもせず、周りとは談笑しながら、自分たちの要件のみを伝えようとした。さすがに、「どこの誰なのか、何の用事で来たのか」を聞かないわけにはいかなかった。同時に、同じ20歳の年齢でもこんなに違うのかと、再び思うこととなった。みなさんは、このエピソードを聞いてどう思うだろうか。

世の中において、この先、出身地や経験、年齢、学歴、職業など違う方々と接する機会が多くなっていく。中には、礼儀知らずで無礼な人もいよう。そういう人は、嫌な印象を持たれることにより、少なからず不利益を被るのだが、そのことに気づかずに過ごしてしまう。

よく思われようと媚(こ)び諂(へつら)う必要はないが、年相応の「品格」は必要であるし、そのような「品格」を持った人物になって欲しいと願う。あいさつがよく、笑顔が素晴らしい南中生。加えて、「品格」ある振る舞いができれば、さらに評価が高まることは間違いない。

志操は高く、
品格ある
青年学徒たれ

地区総体近づく

地区総体が始まる。陸上競技が6月4日(木)、他競技は9日(火)～11日(木)にかけて行われる。一部の競技を除き、県総体への出場権をかけての戦いである。令和5年度から県中学校体育連盟大会規定が大きく見直され、部活動生徒と出場を認められたクラブチームに所属する南中生が出場できる。ここで、大会に臨む、心構えを改めて伝えておきたい。

チーム、個人に必要な要素、「5C」を確認しておこう。「5C」といっても、南中のキャッチフレーズの5Cとは異なるので、是非覚えておいて欲しい。

では、1つの目のCは「CONFIDENCE 自信」をもつ。試合に不安がまったくないという人はいないと思うが、できるだけ小さくしたい。そのために、「やる、できる」と自分を鼓舞しよう。

不安があるような態度や言葉を出さないこと。2つ目は「CONCENTRATION 集中」。やること決めて、プレーする。ミスしたらなんて余計なことも考えない。仮にミスが出ても、すぐに切り替える。ミスしたことを気にしない人はいないが、引きずる時間は短くできる。ミスしたプレーを短時間で振り返り、正しい動作を確認し、修正をする。勝つために必要なことに集中しよう。足を動かすとか、相手をよく見るとか、基本的なことをきちんとやることだ。3つ目「CONTROL 気持ちをぶれさせない」。やり直しのきかない一発勝負がほとんど。気持ちがぶれた時間が長いと取り返しがつかないこともある。ブレたら、自分たちが達成したいことは何だったか、確認する必要がある。4つ目「COMMUNICATION」。3つ目の「CONTROL」と関連するが、イライラは自分のパフォーマンスだけでなく、チーム全体に悪い影響を与える。



R7年度県新人バレー大会より



5/26 地区総体推戴式より

しかもやっかいなことに、心のブレは、その本人は冷静さを欠いていることが多いので、一人では修正ができないことがある。そのときに、「COMMUNICATION」が重要になってくる。「ドンマイ」「惜しかった」「もう一度トライ」「次、取るぞ」など、気持ちを切り替える声掛けをしよう。個人で戦う場合などは、どうしても相手と自分を比較してしまうことがある。「勝てない」「強い」「だめだ」などが頭に浮かぶ。こんなときは自分と対話し、「できる」

「やれる」「絶対に拾う」など自分を鼓舞し、自分がやるべきことのみを考えよう。相手をよく見よう。

最後に「COVER」。お互いに助け合おう。カバーし合おう。元気がない様子があれば、発破をかけ、選手もベンチもスタンドも勝利のために「心を揃(そろ)え」よう。「自分を信じ、仲間を信じ、過去最高の自分を発揮し、みんなを喜ばせます」と自分自身も鼓舞しよう。

全種目の総合結果で「過去最高南中!」を勝ち取ろうではないか。「気張れ。国南健児!」。

〔令和8年6月の主な行事予定〕

1日(月)国分南中校区小中連携研修会 2日(火)生徒集会 3日(水)国分高課題探求活動紹介
4日(木)地区総体陸上競技大会 9日(火)～11日(木)地区総体
16日(火)全校集会(地区総体表彰など) 17(水)市生活指導研究協議会・市外指連絡会
19日(金)1学期期末テスト部活動停止期間～26 23日(火)生徒集会
24日(水)～26(金)一学期期末テスト 29(月)SNSに関する人権教室
30日(火)第1回学校保健委員会、第1回学校給食運営委員会

※ あくまでも予定ですので、変更等が生じる可能性があることを予め、了解ください。